

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校給食事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	06	05	02	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校教育課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	遠藤 由樹				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校の児童生徒及び教職員	意図	学校生活の充実 児童生徒の健康増進
事業内容	学校給食業務に係る報酬・賃金等の一般事務管理及び栄養士・調理員・配膳員の研修、指導を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和30年代に小学校で完全給食が始まり、さらに市民の要望で昭和50年代に中学校の給食が開始された。開始時に採用した調理業務従事者の高齢化、施設の老朽化、学校給食の個性化・多様化の要求などが課題となっている。また運営方式については、中学校は全校委託で行っており、小学校においても平成28年度から順次民間委託を導入している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	直営で給食を提供した児童生徒及び教職員数	8,779	7,877	6,144	人	↓↓↓	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 児童生徒の栄養向上、生活指導の向上により、体格・体力・健康の増進を図ることができた。 また、食育の一環として給食を位置付けることにより、より豊かな教育実践が期待できる。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		51,727,582	46,240,564	39,496,287				
事業費(b)(円)		47,209,582	42,121,564	35,469,087				
うち一般財源		47,209,582	42,121,564	35,469,087				
職員給与費(c)(円)		4,518,000	4,119,000	4,027,200				
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	給食調理業務を民間に委託し、中長期的にサービスの向上を図りながら、経費の抑制を図る。	③取組の課題	事業経費の削減と効率的運用が必要となっている。
②今年度(H29)に実施した取組	安全で豊かな食を提供するための工夫を行い、事業経費の削減に努めた。	④今後(H30以降)の改善計画	安全で美味しい給食の提供を求められているが、アレルギー対応などの現代的課題にも適切に対応していく。